

教育委員会（学校教育総務課・生涯学習課）

問 学校給食無償化事業について問う。

答 子育て世帯の経済的負担を軽減する目的で実施している。財源は過疎債を活用しており、給食無償化による他のサービスや住民負担への影響はなく、給食の質も以前と変わらないものを提供している。

問 アフタースクールについて問う。

答 令和6年度より教育委員会の指導主事が3名体制となり、その1名が積極的に関わられるようになった。しかし、予算に対して定員は20人に限られているため、今後の課題と認識している。

問 B&G 海洋センターの今後について問う。

答 築30年以上経過し、施設の老朽化が目立つが、利用者に迷惑が掛からないようその都度、修繕対応している。今後どうしていくかは、事業計画や財源の確保等考えていく必要がある。

問 地域高2留学事業の改善点等について問う。

答 令和5年度から取り組んでおり、アドバイザーの意見も取り入れ、受入れ体制やPRの改善に努めたが、留学生の受入れにつなげることはできていない。地域高2留学は国の事業でもあり、内閣府に対して機運の醸成を図るよう要望している。

問 生涯学習センターの利用状況と、移転改修に係るスケジュールを問う。

答 研修室は138件(2235人)和室は188件(1303人)会議室は112件(668人)である。現在、基本構想及び基本計画の策定中で、令和8年12月までを業務期間としている。その後、令和8年～9年にかけて基本・実施設計を行った後、改修工事に取り掛かる予定である。

決算常任委員会に付託された令和6年度能勢町特別会計歳入歳出決算及び、事業会計決算については、9月24日に委員会を開催し、決算内容を審査しました。

採決の結果、認定すべきものと決定しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

特別会計（国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計） 国民健康保険診療所特別会計・下水道事業会計

■能勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定■

問 国保加入者に健康増進支援事業として1人1万5千円を給付したことは評価するが、令和6年度で終了している。基金と繰越金で約2億円の黒字会計になっているのになぜ継続しないのか問う。

答 安定的な運営をする上で一定の余裕が必要と考えている。

■能勢町介護保険特別会計歳入歳出決算認定■

問 令和6年に開所した看護小規模多機能型居宅介護事業所（看多機）の問題点と対応策を問う。

答 看多機に登録するには、ケアマネージャーを変更しなければならず不安の声があるが、制度上改善は困難と認識している。
利用者が少ない事については、オレンジカフェなどを通じて宣伝していきたい。

■能勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定■

問 高齢者の負担軽減のために督促手数料の廃止や廃止を検討する自治体が4割もある。本町の考えを問う。

答 その件は把握しているが、本町では検討していない。

■能勢町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定■

問 今後の診療所の在り方について問う。

答 将来困らない医療体制のために、市立池田病院などと連携を密にして関係づくりを心掛ける。

■能勢町下水道事業会計決算認定■

問 今後、下水道料金を上げざるをえないような状況になってくるのではないかと問う。

答 現状の経営状況では事業維持が難しいと考えている。今後、近隣自治体との広域化や事業所と一般家庭の負担割合の見直しを考えていく。

◇令和6年度能勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定多数
◇令和6年度能勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定多数
◇令和6年度能勢町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定多数
◇令和6年度能勢町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	認定全員
◇令和6年度能勢町下水道事業会計決算認定	認定多数